

大日精化工業株式会社
2024年3月期 第2四半期
決算説明会資料

証券コード：4116

2023年12月7日



Dainichiseika

1.事業内容

沿革：コア技術をもとに海外市場・環境貢献製品に展開

技術

有機無機合成・顔料処理技術

分散加工技術

ウレタン樹脂・アクリル樹脂合成技術

参入市場

- 顔料の量産を開始 (日本初)
- ペースト状塩ビ用着色剤 (ビニルトナー) (日本初)
- ビニロン・レイヨン繊維用原液着色剤 (日本初)
- ポリオレフィン用ドライカラー・マスターバッチ
- コンピュータカラーマッチング (日本初)
- II分散体
- CF用顔料
- ウレタン樹脂事業参入
- シリコン・ウレタン樹脂
- 紫外線硬化型コーティング材
- 塩ビシート用グラビアインキ
- 食品包装用グラビアインキ

拠点

- 彩華顔料合資会社設立
- 大日精化工業株式会社設立
- 東京製造事業所
- 成田
- 中国
- 浮間合成株式会社設立
- 東海
- アメリカ
- インドネシア
- 台湾
- 韓国
- 加須・佐倉
- オランダ
- タイ
- インド
- ベトナム
- 新本社竣工
- 坂東



本社

坂東製造事業所

1940年度

1960年度

1980年度

2000年度

2020年度

売上高
(億円)

2,000

1,500

1,000

49
48
500
東証プライム上場

当社事業セグメントと最終製品のイメージ

	Color & Functional Products	Polymer & Coating Materials	Graphic & Printing Materials
	顔料及び顔料の2次加工製品	合成樹脂及び特殊コーティング剤	パッケージ用及び広告出版用インキ
主な製品	<ul style="list-style-type: none"> 顔料・カラーベース 繊維用着色剤・捺染剤 プラスチック用着色剤・機能剤 	<ul style="list-style-type: none"> ウレタン樹脂 コーティング剤 天然物高分子 	<ul style="list-style-type: none"> グラビアインキ フレキソインキ オフセットインキ
主な利用用途	<ul style="list-style-type: none"> 塗料・印刷インキ トナー・IJプリンタ用インキ LCDカラーフィルタ 建材・日用品・紙製品 	<ul style="list-style-type: none"> 合成皮革(家具、衣料) 車両内装材・建材・日用品 電線・ケーブル・ベルト 化粧品 	<ul style="list-style-type: none"> 食品・日用品包装材 食品用トレー 
	<ul style="list-style-type: none"> 車両・産業資材 インテリアファブリック アパレル製品 紙 	<ul style="list-style-type: none"> LCDパネル 加飾用フィルム パソコン・事務機器 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料ボトルラベル 産業資材・建材 ダンボール・包装材 
	<ul style="list-style-type: none"> 車両 家電・日用品・アウトドア用品 産業資材・農業資材・電線・建材 食品包装・トイレタリー 	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品 排水浄化・水処理 	<ul style="list-style-type: none"> 広告・書籍 パッケージ 

当社セグメントの販売先業界

B to B メーカーとして多様な業界に最適な製品を提供

Color & Functional Products 顔料及び顔料の2次加工製品

輸送機器

建材・設備

産業資材

包装

情報・電子

Polymer & Coating Materials 合成樹脂及び特殊コーティング剤

輸送機器

建材・設備

産業資材

衣料品・服飾品

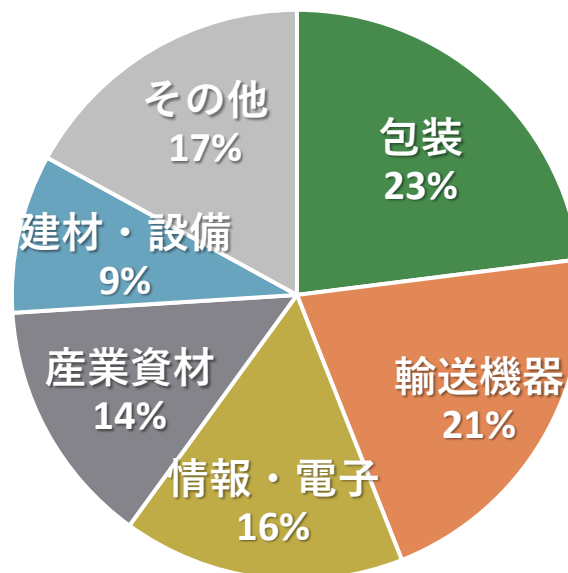
情報・電子

Graphic & Printing Materials パッケージ用及び広告出版用インキ

包装

広告・出版

2023年3月期（国内海外合計）



お取引先

大日精化工業の製品を用いて、
多様な最終製品に加工



2. 2024年3月期第2四半期 決算概要

連結損益計算書

- ・売上高：液晶向け回復、自動車向け緩やかに回復、建材、包装向け低調、海外は中国が低調に推移
- ・営業利益：販売価格改定及び工場移転一時費用減少も販売数量減少の影響により減益
- ・営業外、特別損益：持分法適用関連会社低迷により持分法投資損失計上、政策保有株式の売却益計上

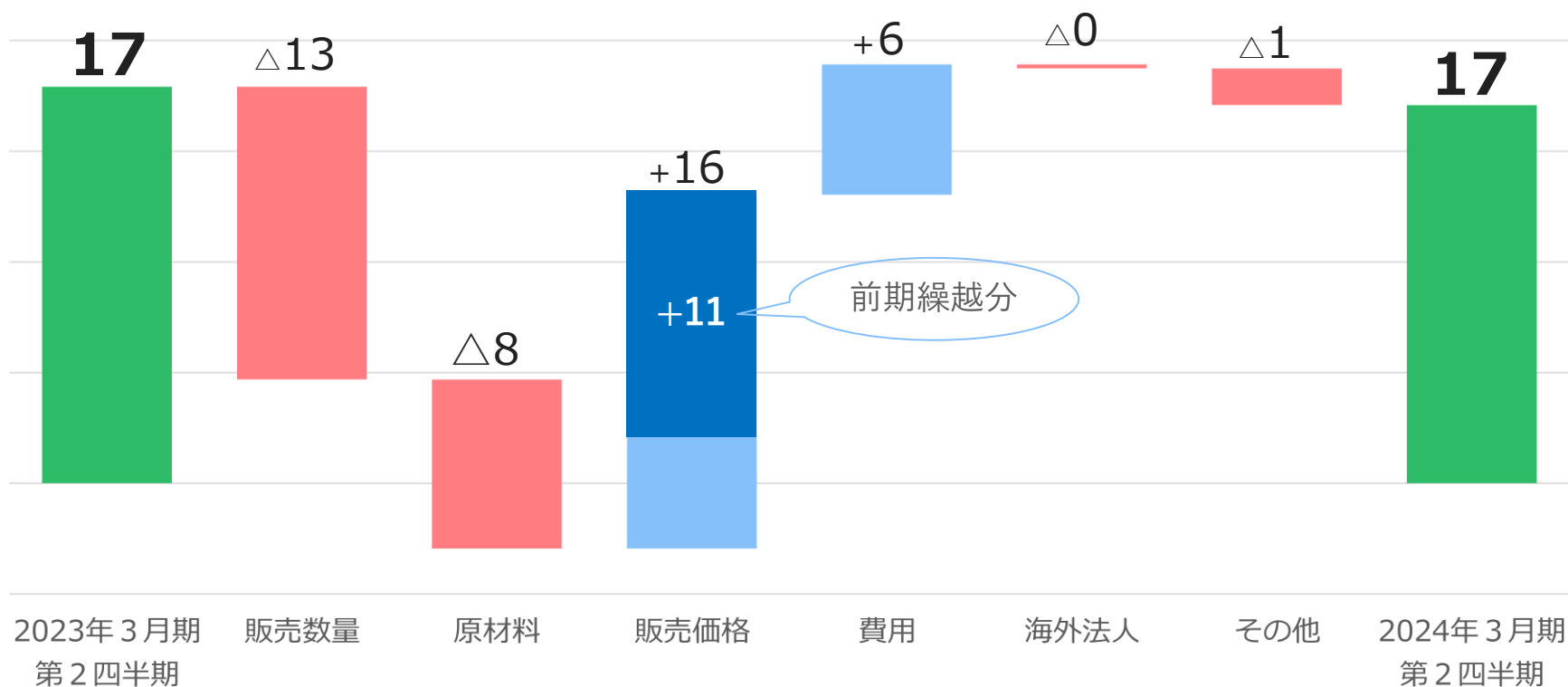
単位：億円・切捨	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	620	595	△25	△4.1%
営業利益	17	17	△0	△4.7%
経常利益	24	21	△3	△12.7%
親会社株主に係る四半期純利益	16	25	+9	+57.0%
EBITDA*	45	42	△2	△5.7%
研究開発費	15	14	△0	△2.4%
海外売上高比率	27.8%	24.9%	△2.9	-
1株当たり四半期純利益	87.68円	140.98円	+53.30円	-
為替レート	\$ 131.71円 €137.76円	\$ 139.13円 €154.45円	7.42円安 16.69円安	- -
ナフサ価格	83,750円	65,550円	△18,200円	△21.7%

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

連結営業利益の増減要因 (前第2四半期・当第2四半期実績比較)

- ・販売数量：液晶ディスプレイ向け顔料・コーティング剤回復、自動車向けコンパウンド・着色剤回復傾向、建材・包装材料向けの着色剤・グラビアインキは低調に推移
- ・原材料：直近では高止まりも前年同期比上昇
- ・販売価格：前期販売価格改定分が期初から寄与
- ・固定費：前期に一過性の費用として新工場移転費用を計上
- ・海外法人：インドネシア子会社の採算改善、中国子会社が景気低迷により低調に推移

単位：億円



セグメント別概況（サマリー）

売上高

単位：億円・切捨	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	344	323	△21	△6.2%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	119	119	△0	△0.5%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	155	152	△3	△2.3%
売上高	620	595	△25	△4.1%

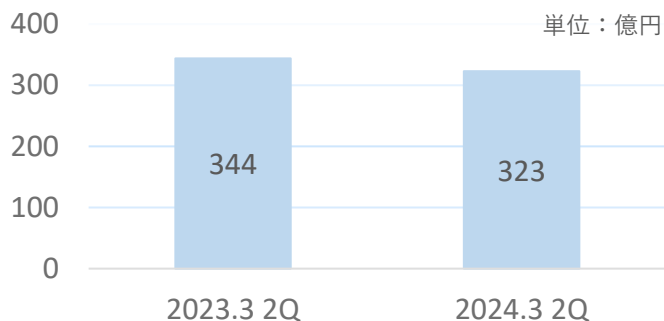
営業利益

単位：億円・切捨	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	14	7	△7	△49.0%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	10	13	+2	+27.7%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	△7	△3	+3	-
営業利益	17	17	△0	△4.7%

セグメント別概況（カラー&ファンクショナルプロダクト）

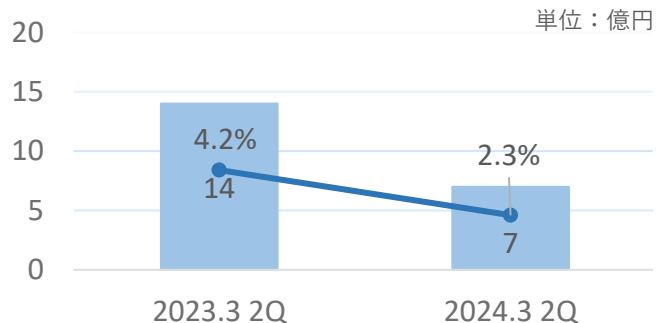
Color & Functional Products 顔料及び顔料の2次加工製品

売上高



- ✓ 自動車向けコンパウンド・着色剤は緩やかに回復も顔料は低調に推移
- ✓ 建材向け着色剤は住宅着工件数減少に伴い低調に推移
- ✓ 液晶ディスプレイ向けの顔料は回復も8月後半から調整
- ✓ 海外コンパウンドはインド好調に推移も中国華南・上海が低調に推移

営業利益・営業利益率



- ✓ 販売数量の減少により減益
- ✓ 中国のコンパウンド事業が景気低迷の影響を受け減益

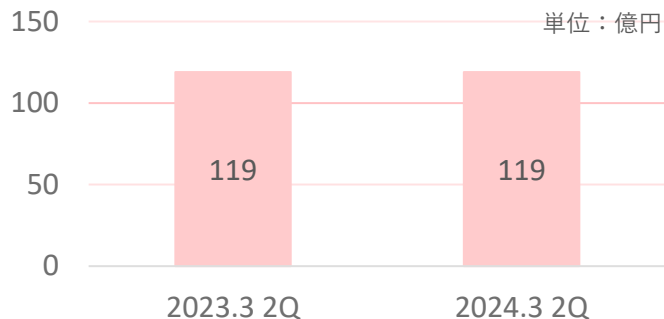
	2023.3 2Q	2024.3 2Q
EBITDA*	29	21
研究開発費	7	7

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

セグメント別概況（ポリマー&コーティングマテリアル）

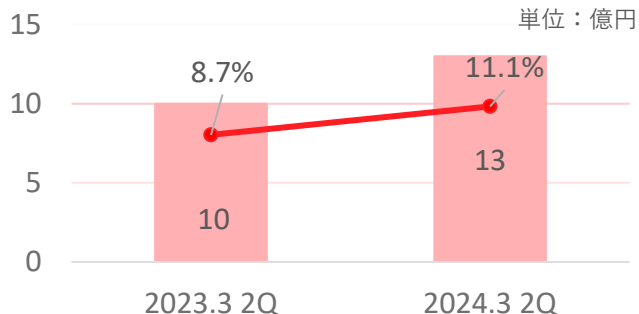
Polymer & Coating Materials 合成樹脂及び特殊コーティング剤

売上高



- ✓ ウレタン（PU）樹脂は、自動車向けは採用車種により差があるが総じて堅調に推移。産業資材・衣料品服飾品用途向けは、在庫調整により低調に推移
- ✓ コーティング剤は、ディスプレイ向けが回復し好調に推移。建材向けは住宅着工件数の低迷により低調に推移
- ✓ ウレタン樹脂の中国拠点は、表面処理剤を主体に堅調に推移

営業利益・営業利益率



- ✓ ウレタン樹脂は、販売価格改定と原材料価格低下等により前年同期並
- ✓ コーティング剤は液晶ディスプレイ向けの販売数量増加により増益

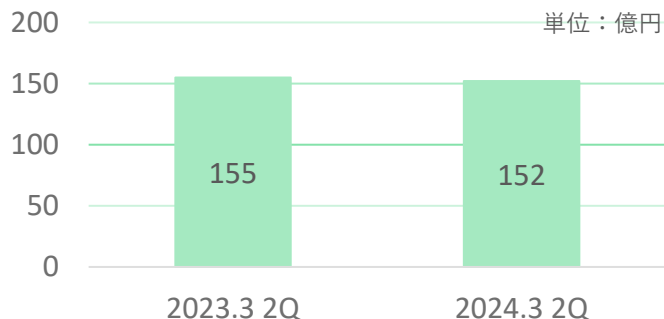
	2023.3 2Q	2024.3 2Q
EBITDA*	17	20
研究開発費	4	4

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

セグメント別概況（グラフィック&プリンティングマテリアル）

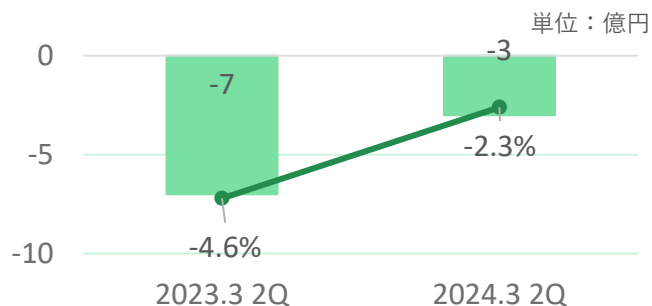
Graphic & Printing Materials パッケージ用及び広告出版用インキ

売上高



- ✓ 国内グラビアインキは、飲料用途好調も物価高による買い控え影響により食品包装向け低調
- ✓ 環境対応製品としてバイオマス原料を使用したバイオマスインキは引き続き伸長

営業利益・営業利益率



- ✓ 前期計上の一過性費用（坂東移転費用）がなくなる
- ✓ 国内グラビアインキは、販売価格改定により赤字縮小
- ✓ インドネシア子会社は、販売価格改定と一部原材料の下落により損益は大きく改善

	2023.3 2Q	2024.3 2Q
EBITDA*	△1	1
研究開発費	2	2

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

連結貸借対照表

- ・資産：総資産増加、「売上債権」は2Q期末休日により増加、「棚卸資産」は減少
「投資有価証券」は政策保有株式売却進めるも保有株式時価上昇により微減
- ・負債：負債計増加、「環境対策引当金」を流動負債に組替、「有利子負債」は横ばい
- ・純資産：純資産増加、配当金前期末@40円、円安・株高により「その他の包括利益累計額」が増加
持ち合い株式解消による自己株式増加

単位：億円・切捨	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	前年度末比 増減		2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	前年度末比 増減
流動資産	1,102	1,122	+20	流動負債	535	587	+51
固定資産	825	828	+2	固定負債	249	203	△46
有形	497	503	+5	負債	784	790	+5
無形	13	12	△1	有利子負債	309	299	△10
投資	313	312	△1	純資産	1,143	1,160	+17
資産	1,927	1,951	+23	負債・純資産	1,927	1,951	+23

	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	増減
DEレシオ	0.28	0.26	△0.02
自己資本比率	58.1%	58.3%	+0.2
BPS	6,060.11	6,627.75	+567.64
PBR	0.29	0.34	+0.05

連結キャッシュフロー計算書

営業CF：運転資本の増減（売上債権↓・仕入債務↑・在庫↓ 期末休日影響あり）、前期末法人税還付
投資CF：設備投資による支出、政策保有株式売却による収入
財務CF：借入金返済、配当金の支払い、自己株式の買付

単位：億円・切捨	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減	増減率
営業CF	+16	+29	+12	+76.3%
投資CF	△16	△5	+10	+65.0%
財務CF	△17	△48	△30	+172.3%
現金及び現金同等物の期末残高	246	218	△28	△11.6%

キャピタル・アロケーション

IN : 営業CFによる収入、政策保有株式の売却

OUT : 設備投資、借入金返済、配当金支払い、自己株式の買付

2024年3月期第2四半期キャッシュ・フロー

単位：億円

IN

OUT

営業CF	
・ 営業利益	+17
・ 減価償却費	+25
・ 運転資本	△21

+14

投資CF	
・ 株式の売却	+19

+20

為替換算	+11
------	-----

+11

現預金の取崩	+5
--------	----

+5

△19

投資CF	
・ 設備投資	△18

△48

財務CF	
・ 借入金返済	△9
・ 配当金支払	△7
・ 自己株式買付	△28

3. 2024年3月期業績予想 及び株主還元

2024年3月期業績予想

各業界別の売上高の見通しは以下の通り。営業利益は、原材料価格及びユーティリティ費用の動向に注視する必要があるものの、販売数量の拡大により下期は上期に比較して増益となる見通し

車両業界：自動車向けのコンパウンド・着色剤は、上期は生産持ち直しにより緩やかな回復となり、下期も順調に推移していく見通し
 情報電子業界：液晶ディスプレイ向けの顔料及びコーティング剤は、想定より早く春先から回復となったが、下期は弱含みで推移する見通し
 包装/パッケージ業界：グラビアインキは、人流増により飲料品用途が回復する一方、物価高による食料品等の需要減により当初想定を下回る見通し
 建材業界：着色剤・コーティング剤は、住宅着工件数の低迷見込により低調に推移する見通し

単位：億円・切捨	2023年3月期 実績	2024年3月期 当初予想	2024年3月期 修正予想	当初予想比 増減	増減率
売上高	1,220	1,280	1,204	△76	△5.9%
営業利益	26	52	44	△8	△15.4%
経常利益	33	56	45	△11	△19.6%
親会社株主に係る 当期純利益	20	43	41	△2	△4.7%
EBITDA*	82	103	95	△8	△7.7%
1株当たり当期純利益	108.58円	232.54円	238.97円	+6.43円	-
為替レート	\$ 135円 €140円	\$ 135円 €140円	\$ 139円 €154円	4円円安 14円円安	- -
ナフサ価格	76,625円	72,000円	63,600円	△8,400円	△11.7%

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

2024年3月期業績予想（セグメント別）

売上高

単位：億円・切捨	2023年3月期 実績	2024年3月期 当初予想	2024年3月期 修正予想	当初予想比 増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	672	705	656	△49	△7.0%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	236	250	245	△5	△2.0%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	310	325	303	△22	△6.8%
売上高	1,220	1,280	1,204	△76	△5.9%

営業利益

単位：億円・切捨	2023年3月期 実績	2024年3月期 当初予想	2024年3月期 修正予想	当初予想比 増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	20	29	22	△7	△24.1%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	19	27	28	+1	+3.7%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	△13	△4	△6	△2	-
営業利益	26	52	44	△8	△15.4%

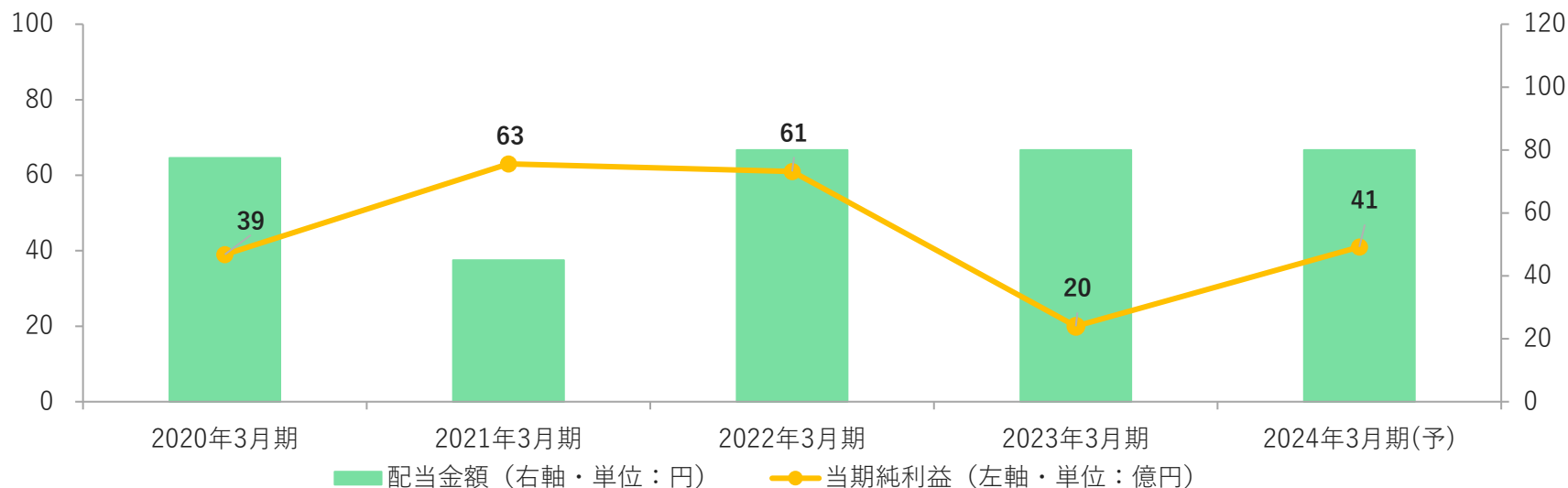
株主還元（配当金）

【配当政策】

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の観点から、将来の事業展開、経営基盤の強化並びに内部留保の充実等の事項を総合的に勘案しつつ、株主各位への利益還元を重視した配当政策を継続的に実施することを基本方針としております。

【配当方針】

- ・業績に連動した安定的、継続的な株主還元を着実に実施
- ・財務体質の健全性を維持しながら、成長に向けての投資及び環境投資へ優先的に配分
- ・配当性向 2～3割程度を計画



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
1株当たり配当 (円)	77.5	45.0	80.0	80.0	80.0
配当性向	36.2%	13.2%	24.0%	73.7%	33.5%

參考資料

会社概要

企業理念

「人に興味を持とう」 「新しいことに興味を持とう」 「未来に興味を持とう」

会社名	大日精化工業株式会社 Dainichiseika Color & Chemicals Mfg. Co., Ltd.
本社所在地	東京都中央区日本橋馬喰町一丁目7番6号
創業	1931年10月16日
代表者	代表取締役社長 高橋 弘二（たかはし こうじ）
資本金	100億39百万円（東京証券取引所 プライム市場）
従業員数	連結3,665名（2023年3月31日現在）
連結売上高	1,220億05百万円（2023年3月期）
グループ会社	国内9社 海外19社

グローバル展開：市場成長性・需要に対応した戦略的拠点展開

	海外拠点		国内拠点
製造	Color & Functional	10拠点	14拠点
	Polymer & Coating	3拠点	
	Graphic & Printing	3拠点	
営業	4拠点		13拠点
研究開発			6拠点



展開エリア	主な製造品
日本	樹脂化合物・プラスチック用着色剤、コーティング剤・ウレタン樹脂、印刷インキ
中国	樹脂化合物・プラスチック用着色剤、コーティング剤・ウレタン樹脂、印刷インキ
台湾	プラスチック用着色剤、ウレタン樹脂
タイ、ベトナム インド	樹脂化合物・プラスチック用着色剤
インドネシア	印刷インキ
アメリカ	コーティング剤・ウレタン樹脂、印刷インキ
ヨーロッパ	樹脂化合物・プラスチック用着色剤

当社セグメント製品と売上・利益

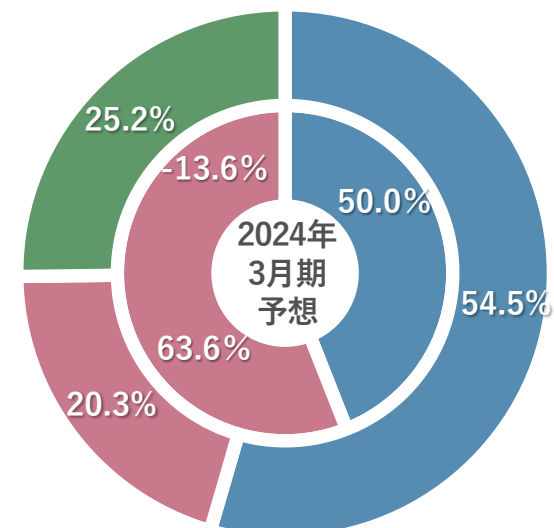
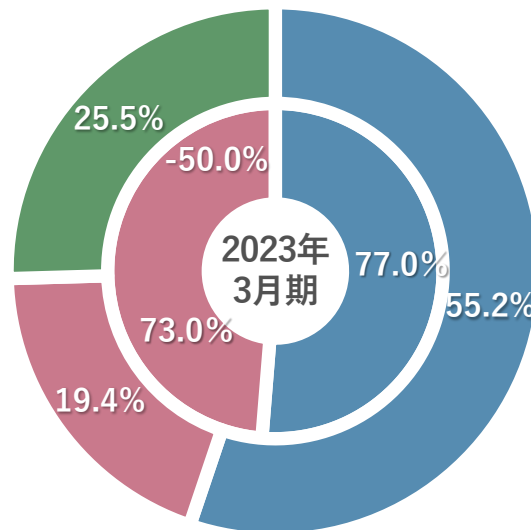
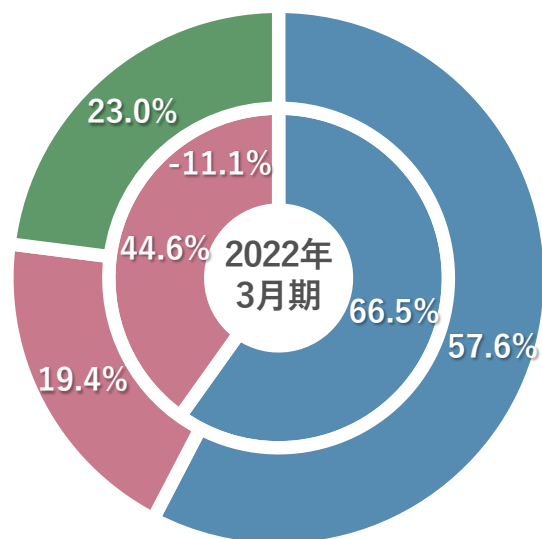
Color & Functional

Polymer & Coating

Graphic & Printing

内側：売上利益構成比

外側：売上構成比

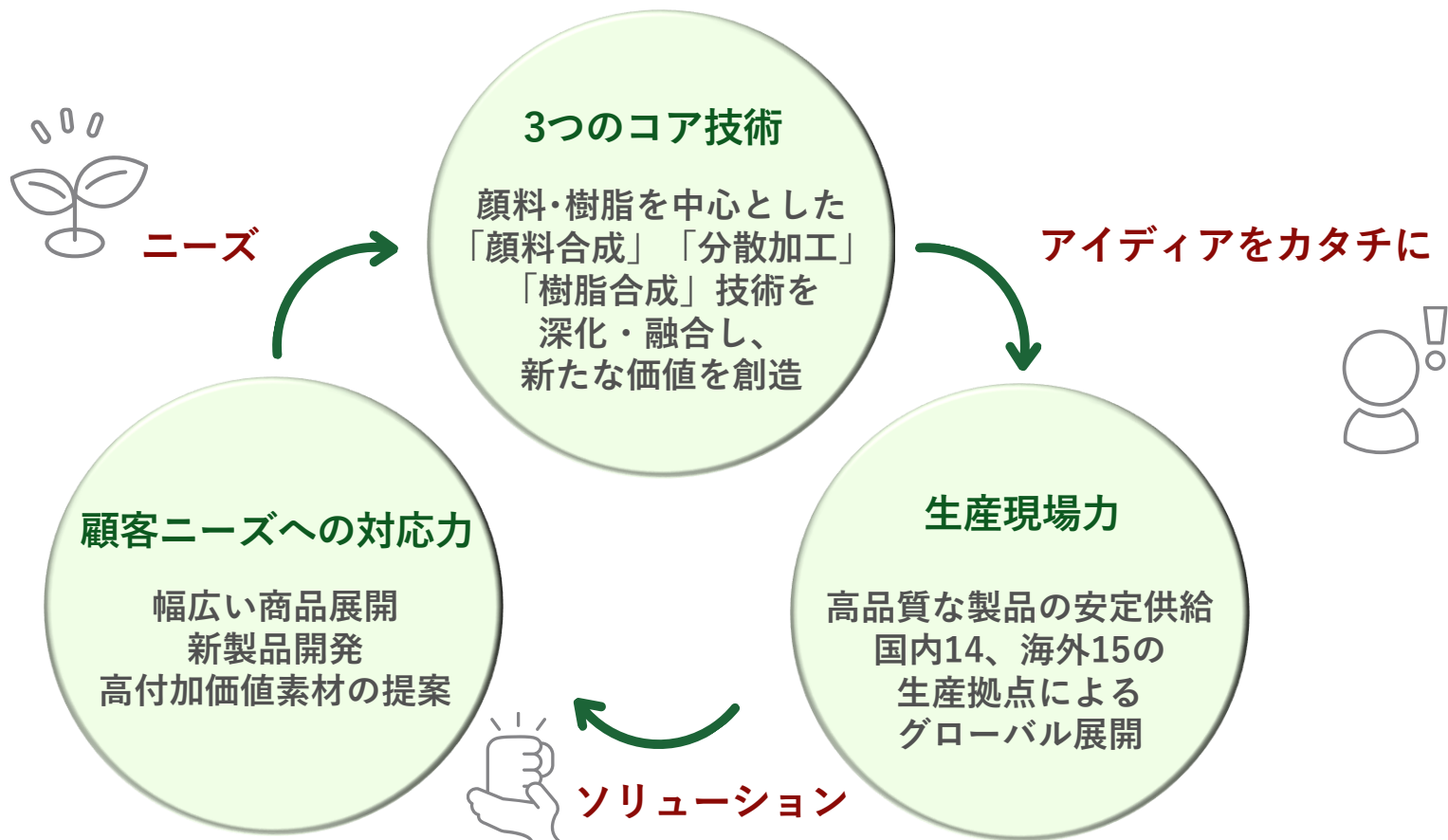


単位：億円・切捨	売上高			営業利益		
	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想
カラー&ファンクショナル プロダクト (C&F)	702	672	656	49	20	22
ポリマー&コーティング マテリアル (P&C)	236	236	245	33	19	28
グラフィック&プリンティング マテリアル (G&P)	280	310	303	△8	△13	△6
合計	1,219	1,220	1,204	74	26	44

私たちの強み | Our Strength

「彩り」と「アイデアをカタチにする」化学メーカー

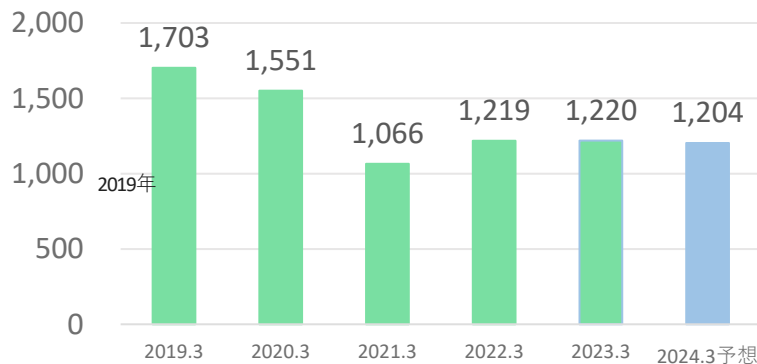
顔料を祖業に、創業以来90年にわたり磨いた技術で、
社会や環境のニーズに即した付加価値の高い素材を生み出す会社



ものづくりを通じた社会・環境への貢献

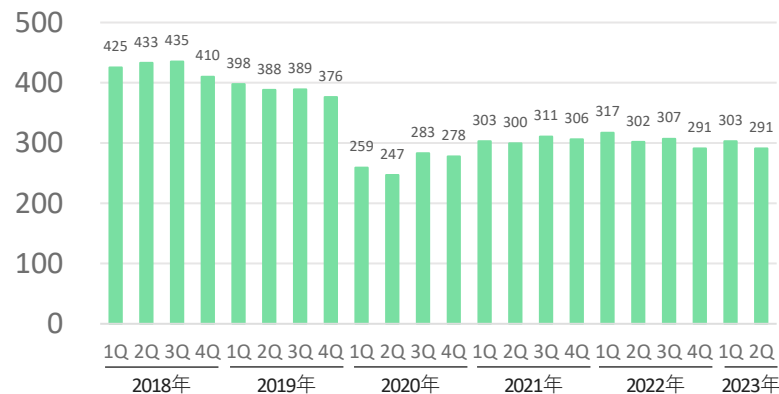
業績推移 (通期・四半期)

売上高・通期 (単位：億円)

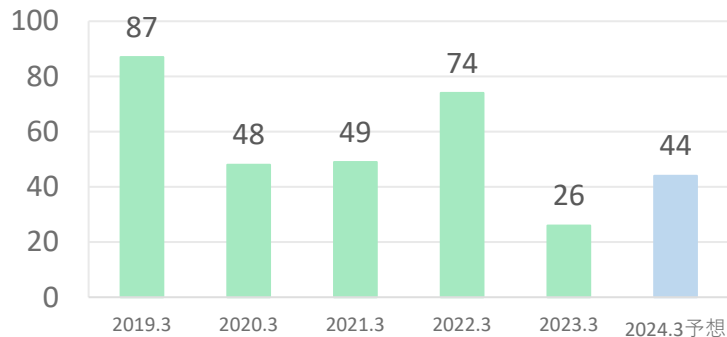


※2021年3月期以降の通期及び四半期売上高は「収益認識に関する会計基準」を適用後の数値

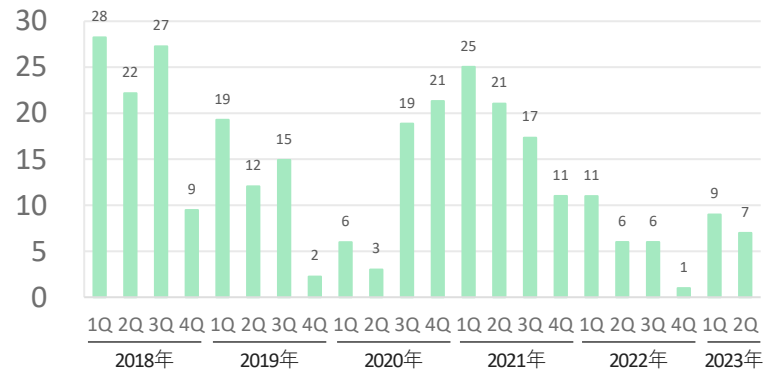
売上高・四半期 (単位：億円)



営業利益・通期 (単位：億円)



営業利益・四半期 (単位：億円)



本資料の取り扱いについて

- ☑ 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性等がありますことを、予めご了承ください。
- ☑ 本資料に掲載されている情報に関して、当社は最新の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によりデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。

【IRに関するお問い合わせ先】

大日精化工業株式会社 広報本部

TEL : 03-3662-1638

Web : <https://www.daicolor.co.jp/>

Mail : d-mailto@daicolor.co.jp